

かもめ会だより

かもめ会精神保健福祉バス見学会に行ってきた

かもめ会でチャーターした中型バスは氷雨のぱらつく中、ほぼ時間通りに最初の目的地の南大井に到着、18人の参加者は2班に分かれてグループホームかもめハウス（6名用）や日によって食事も提供する交流スペース「憩いの場」を見学した。

その後、地域生活サポート24事業（地域に暮らす当事者の一人暮らしやかもめハウスを卒業した方をサポートする）や医者や看護師、精神保健福祉士等が地域に暮らす当事者の見守り支援をしてくれるソルの事業の説明を責任者の栗田さんたちから聞くことが出来た。

2番目に訪れたのは北品川の就労 B 型作業所かもめ第一工房で当事者の方（定員25名）がおいしい香りがただようクッキー作りをしている現場をのぞいたり、洗剤の包装などの軽作業をしているところも見学できた。働いている方にインタビューするかもめ会員も見られた。一部の方は公園のお掃除に出かけているとのことだった。焼きたてのお菓子をほうばりながら高橋施設長の説明を聞いて、暖かい紅茶までいただきところがホットになった。西大井のかもめ第二工房（定員20名）西五反田のかもめ第三工房（定員20名）も同じ福栄会の作業所で入所を希望する方は品川区精神障害者地域生活支援センター「たいむ」で相談するとよいとのことでした。

降り続く雨の中を移動して3番目の訪問は渋谷区千駄ヶ谷の就労 B 型の Green Café にお邪魔した。特別に作っていただいたサーモンのムニエルなど美味しい DX ランチをいただきながら施設長の吉本さんから事業の内容をうかがった。デザートのカップケーキは食べきれずに持ち帰った方も多かった。食後は徒歩5分のみどり工房さんを見学、七宝焼き、革製品づくり、パソコンでのデザイン、公園清掃などもあり当事者の方々が自由に楽しそうに働いているのに少し感動してしまった。品川区の方も利用できるということです。

午後は首都高速を通過して東京スカイツリーの一番高い展望台まで登った。かもめ会のメンバーが展望台にたどりついた頃になって今まで雲の中に隠れていた富士山が少し傾きかけた夕陽と共に雲の下に顔を出した。雨で何も見えないのかと思って諦めかけていたところにもすごい富士山、一日かかって勉強したことは半分どこかに行ってしまった。みんな晴れ晴れした顔でバスに戻ってきた。一日で4か所訪問とどこかの旅行会社の弾丸ツアーのように盛りだくさんだったが、品川区や渋谷区の精神保健福祉の現場をしっかりと見学できた。案内していただいた事業所の方々に感謝です。企画実行してくれた杉田幹事さんお疲れさまでした。バス見学会を補助していただいた品川区役所と社会福祉協議会の皆さまありがとうございます。

3月の精神保健家族勉強会（荏原保健センター主催）について

次回家族勉強会は、3月13日(水)「懇談会」です。近況を話し合ったり、来年度の計画を立てたりします。皆様のご参加をお待ちしています。参加希望の方は、荏原保健センター ☎ 3 7 8 8 - 7 0 1 6 までお電話ください。（臨床心理士 飯塚伸一）

シンポジウム 当事者と家族が語る「地域参加」に協力します

シンポジウムに参加される皆さまの意見を会場でのべていただけると会が有意義なものになると思います、年輪の会から佐藤会長が、かもめ会からは庄田が発言します。

以下 風車の会(障がいがある人もない人も生きやすい品川をつくる会)シンポジウム
チラシ原文のまま

精神障がい者に対する医療、保健、福祉サービスは決して十分とはいえません。障がい者政策の歴史も、身体障がい者からはじまって知的障がい者へ、そして精神障がい者にいたっては1993年に障害者基本法の改正により「障害者」として定義付けられ、翌年94年に精神保健福祉法に改定されました。さらに雇用分野でも、昨年4月によりやく法定雇用率の対象に算定されたばかりです。福祉も雇用もそんな現状です。また一方、政策の推進とは別に、身体障がい者への理解と異なって、知的障がい者とともに精神障がい者に対する差別と偏見は今なお根強いものがあります。

風車の会では今回、当事者と家族によるシンポジウムを企画しました。シンポジストの一人である堀合悠一郎さんは横浜市磯子区にある就労継続B型のピアスタッフとして働いており、また昨年明石書店から出版した『当事者が語る 精神障害とリカバリー』の代表著者でもあります。

シンポジウムを通して、精神障がい当事者と家族がおかれている実態をみんなで学び、そして話し合ひましょう。皆さんのご参加をお待ちしています！

日 時 2019年3月3日(日) 13:30~16:00 (13:15分開場)

場 所 荏原第三区民集会所第1集会室 品川区平塚1-13-18(☎3783-2000)

最寄駅 都営浅草線戸越駅徒歩3分、東急池上線戸越銀座駅徒歩5分 エレベーター有

参加費 500円

【プログラム】

シンポジスト 堀合 悠一郎さん シャロームの家(就労継続B型)ピアスタッフ

佐藤 諦吉さん 品川区精神障害者当事者会 年輪の会会長

庄田 洋さん 品川区精神保健福祉家族会 かもめ会会長

コーディネーター 堀 利和さん 風車の会

※手話通訳が必要な方はご連絡ください。託児はありませんがお子さん連れでお出かけください。

主催 風車の会(障がいがある人もない人も生きやすい品川をつくる会)

協力 品川市民活動交流会、品川区かもめ会、品川区年輪の会、NPO もやい

後援 品川区、品川区社会福祉協議会

問合せ 風車の会(井上)090-9000-6556 FAX 03-5751-7106

かもめ会員への同封資料

1. 手当に関するご案内(品川区障害者福祉課)
2. 精神科医のイメージと能力に関する調査報告(夏莉郁子先生)
3. 学習会 障害のある子の「親なきあと」～「親あるあいだ」の準備(NPO 法人パルレ)
4. たいむりい news2月号(たいむ)
5. シンポジウム 当事者と家族が語る「地域参加」 5. つくしだより 2月号(つくし会)